

第174回防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和4年5月25日（水）10時00分～13時00分

2 場所

防衛省庁舎A棟2階講堂

3 出席者

(委員)

河村会長、片岡委員、柴山委員、西谷委員、林委員、藤川委員、星委員

(防衛省)

防衛装備庁 春日原長官官房審議官、萬浪装備政策部長、内藤調達管理部長、北澤調達事業部長、岩脇監察監査・評価官（事務局）

統合幕僚監部首席後方補給官代理後方補給輸送班長、陸幕装備計画部長代理装備計画課補給管理班長、海上幕僚監部装備計画部長代理装備需品課長、小島空幕装備計画部長

4 議題

- (1) 随意契約に係るサンプリング調査審議（令和3年度防衛装備庁（第1回））
- (2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和3年度防衛装備庁（第1回））
- (3) 令和3年度防衛調達審議会活動概要
- (4) 次回の日程等

5 議事概要

- (1) 随意契約に係るサンプリング調査審議（令和3年度防衛装備庁（第1回））

令和3年度に防衛装備庁が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「TH-135の機体維持等にかかる包括契約」について審議を行った。

(TH-135の機体維持等にかかる包括契約の概要)

本事業は、海上自衛隊において保有する練習機TH-135の部品供給、機体定期修理及び技術維持活動等の包括的な機体維持に関する契約である。

【事前調査における論点等】

- ① 他省庁、民間及び海外で広く使用されているH135の相場と比較し、TH135のPBL (Performance Based Logistics) による調達価格（年間飛行時間、単価、自己点検等を含め）の妥当性について説明されたい。
- ② PBL実施前、PBL実施後の平成28年度契約及び令和3年度契約について、PBLを導入したことによるコスト削減効果がどのように発生したのか、その内容についてそれぞれの内訳を示した上で、現状での分析状況を説明されたい。あわせて今後改善すべき点について説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

(TH-135の機体維持等にかかる包括契約)

事前調査の論点①及び②について

委：降灰がない場所での運用であれば、費用が抑えられたのではないかと。

防：過去の経緯を踏まえ、訓練に適した環境ということで場所を選んでいる。

委：場所については経緯やメリットがあり、降灰によって費用が高くなるもののそれを上回るメリットがあるのだと理解でよいか。

防：そのとおりである。

委：令和3年度の契約金額は平成28年度の倍以上となっているが、コスト削減効果について平成28年度は32.4%、令和3年度は21.4%と下がっているのはなぜか。

防：平成28年度と比較し、令和3年度は補給管理対象品目が拡大したためである。結果として、削減効果のパーセンテージは低くなかったが、削減した金額は大きいと理解していただきたい。

委：PBL契約について、改善すべき点はないとのことであるが、PBL契約件数は増えているのか。

防：PBL契約の状況については調査の上、後日ご報告したい。

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和3年度防衛装備庁）

【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件2件】

- ① レーダOPS-28G
- ② 電子カルテの借上（03新規）

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件2件】

- ③ 12式地对艦誘導弾能力向上型（その1）（1）
- ④ F-15航空機用維持部品（国産・その1）

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件1件】

- ⑤ 車両搭載高出力レーザ実証装置の研究試作

【事前調査における論点等】

（資料に基づき防衛省側から説明）

① レーダOPS-28G

- ・応札者以外に応札可能性のある企業が特定できるのであれば、本件に入札参加しなかった理由を確認の上、説明されたい。
- ・令和元年からの4回分の当該品の調達数量、単価、契約相手方、契約金額を示されたい。また、これ以外の海自の類似のレーダ契約があれば、その調達数量、単価、契約相手方、契約金額を示されたい。
- ・海上保安庁の当該品又は類似品レーダの契約相手方を示されたい。
- ・水上レーダの供給企業は概ね「日本無線」に限定されているのが現状であるのか、水上レーダの製造における業界地図を示し、具体的にどの用途のレーダをどの業者が応札しているのか説明されたい。

② 電子カルテの借上（03新規）

- ・本件電子カルテ導入にあたり、その検討経緯、検討スケジュール、検討内容等を説明されたい。
- ・医大、他の自衛隊病院及び他省庁の類似システムを導入した実績があれば、調達数量、単価、契約相手方、契約金額を示されたい。
- ・電子カルテシステムに注力しているシステム会社は多いので、それらの会社に個別にアプローチすることは可能か。
- ・コロナがなかった時期の類似システムの調達があれば、その比較をされたい（調達数量、単価、契約相手方、契約金額）。

③ 12式地对艦誘導弾能力向上型（その1）（1）

- ・川崎重工業(株)が応札しなかった理由を確認の上、説明されたい。
- ・入札情報の周知のためにも、過去の応札業者には案内通知することなど、検討されたい。

- ④ F-15 航空機用維持部品（国産・その1）
- ・年間計画において当該品の必要数量を 52EA とした根拠を示されたい。
 - ・「公告、公示日数 1211 日」について「常続的公示」との説明があったところ、常続的公示制度の概要及び長期にわたり公示する意義を説明されたい。
- ⑤ 車両搭載高出力レーザ実証装置の研究試作
- ・今回の研究試作後に関連する契約（量産を含む）を実施する際に、応募会社に対し当該研究成果な可能か。可能な場合は、その開示方法や開示の範囲について説明されたい。
 - ・総合評価落札方式の技術評価及び価格評価について応札者 3 社の具体的な点数内訳（見積もり金額との差額も含め）を示しながら、それぞれの具体的な評価内容及び判定結果を説明されたい。

【本審議】

① レーダ OPS-28G

委：1 者応札となって推察される理由について、単に「経営的判断」とするだけではなく、他業者が応札しない判断に至った理由まで問題意識を持って今後とも調べてほしい。

防：以後も聞き取りをし、分析を続けたい。

委：市販品ではなく、製造請負品であるため応札企業が限られるのであれば、対外的に価格の適正性を説明出来るよう対応していただきたい。

② 電子カルテの借上（03 新規）

委：類似システムの購入実績として、平成 26 年度に陸上自衛隊が契約したものがあるが、当該システムは、本件とは別のシステムを採用しているのか。もし同じシステムであれば同時期に契約した方がコストを低く抑えられるのではないか。

防：本件と平成 26 年度に陸上自衛隊が契約したシステムは別システムである。
また、本件は平成 28 年度に病院の新設に伴い電子カルテの導入が決定されたため、同時期の調達は不可能であった。

③ 12 式地对艦誘導弾能力向上型（その 1）（1）

特段の意見なし。

④ F-15 航空機用維持部品（国産・その1）

委：毎年同じ数量を購入しているのか。

防：過去実績により、故障等で必要となる在庫数を調査し、運用上支障が来さないような在庫数を確保するための数量を購入している。

⑤ 車両搭載高出力レーザ実証装置の研究試作

委：総合評価の時点で、応募会社の提案の実現可能性についてどのように官側が確認、評価しているのか。

防：仕様書に必要最低限の数値を示しており、それに対して最高数値の提案をしたものが満点となる。それ以外の数値については、相対比率で点数をつける。なお、応募会社が提案した数値の実現可能性については、当該企業の実測値やカタログ値により確認している。

委：応募会社が提案したカタログ値について、官側が採用する値の算出及び評価方法及び配点方法について、後日より詳しく説明されたい。

防：後日回答したい。

委：当該契約で得られた研究成果は、関連する契約が後日あった場合、その契約締結後、貸付け文書として開示されるとあるが、契約締結前に応募会社に対して開示することは可能か。

防：この契約に限らず規定等を確認し、整理した上で、後日回答したい。

委：試作において自社またはその提携会社の特許が含まれる場合で、今後当該試作が量産化する際に、特許部分についてどのように開示、対応していくのか。

また、一般的に特許が含まれる研究成果は、その後の契約においてどのように開示されるのかフォローアップ審議において説明されたい。

防：承知した。

（3）令和3年度防衛調達審議会活動概要

令和3年度防衛調達審議会活動概要について、事務局から報告、了承された。

（4）次回の日程等

次回は7月20日（水）の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。